

## 東京都 町田市立町田第六小学校 2年生

### 【一粒で四度おいしい！】 ～「国語」と「観察」の連動による学習の深まり～

#### ■ 実践のきっかけ：

- ・ 保護者の方にピアノの先生がいたので、児童の観察への意欲を高めるために、「トマトの歌」を作ろうと考えた。
- ・ 子どもたちの食への興味を高め、周りの人への感謝の気持ちを伝えられるように、2年生でも手軽にできておいしい料理を考え、周りの人にも食べてもらおうと考えた。
- ・ これらの活動をとおして児童の凛々子への関心が高まったため、さらに国語と連動させて、学習を深めようと考えた。

#### ■ 実践概要：

- 1) 定期的に生活科の時間で観察を行い、気づいたことをもとに、国語の時間に絵手紙を書いた。



また、保護者の方に作ってもらった歌に合わせて歌詞をつくった。

- 2) 低学年でも簡単に作れる「ギョーザピザ」で、お世話になった先生方に感謝を込めて食べていただいた。
- 3) たくさん収穫できたので、手紙と共にラッピングし、お世話になった方へプレゼントした。
- 4) 国語の単元『「。」、「、」「」を使って』の中で、トマトを主人公にした物語を書いた。

冒険物語を書いた児童の作品に対し、「もっと読みたい！」というみんなの声から、原稿用紙15枚の力作が完成。2007年度 第11回町田市創作童話コンクールで「ひなた村賞」に選出された。

「トマトくんのぼうけん」 知久ゆう一ろう

⇒<http://www.c-player.com/images/ac/67/193/tomatokun.pdf>

#### ■ 実践によって得られた成果：

- トマトの世話や観察を「歌詞づくり」や「絵手紙」につなげたことから、観察する力や「凛々子」への関心が高まった。
- ピザ作りでは、ピザにのせる具を子どもたちに考えさせ、自分で作った達成感から、家族にも食べさせたい、と家庭へのつながりが生まれた。
- 何よりも皆がトマトを好きになった。



<実践のきっかけ>

- 保護者の方にピアノの先生がいらしゃったこともあり、児童の観察への意欲を高めるために、凛々子の歌をつくろうと考えた。
- 子どもたちの食への興味を高め、周りの人への感謝の気持ちを伝えられるように、2年生でも手軽にできて美味しい料理を考え、周りの人にも食べていただこうと考えた。
- これらの活動を通して児童の凛々子への関心が高まったため、さらに国語の時間と連動させて、学習を深めようと考えた。

<実践の概要と流れ>

時期	実践概要
定植期	●トマトの苗を学年の畑に植える
生育期	●定期的な観察 ●観察で気づいたことをもとに、生活の時間で給手紙を書く(実践アイデア①) ●観察したことをもとに、生活の時間でトマトの歌詞を作る(実践アイデア②)
収穫期	●たくさん収穫できた! 収穫したトマトに手紙をつけラッピングし、日ごろお世話になっている先生方にプレゼントした ●調理しよう 2年生でもできる「ぎょうざピザ」をつくった。できたピザは他学年の先生方にも食べていただいた(実践アイデア③)
発表	●国語の単元(「。」、「」)を使って)の中で、トマトを主人公にした物語を書いた(実践アイデア④)

実践アイデア① トマトへの給手紙で観察の視点アップ!

毎日の水やりをがんばり、観察記録も定期的につけていたが、もっと子どもたちの観察力を高めたいと思った。そこで、国語の時間でトマトへの給手紙を書いたところ、観察シートにはなかなか記入できない児童も、さまざまな気づきを書くことができ、より注意深く観察できるようになった。またミニトマトなど、違う種類のトマトを育てることで観察の視点が高まった。



実践アイデア③ 低学年でもできる調理でトマト好きに!

自分で育てたトマトでも、食べる時に苦手意識を持つ児童がいた。そこで、トマトケチャップを使って、簡単に調理できるぎょうざピザを作った。(ぎょうざピザのレシピはP.10参照)  
トッピング内容は児童自身が考えた。トマトが苦手な児童も、自分で調理したことでとても美味しいと気づき、トマトが大好きになった。また、自分で調理したピザをお世話になっている方にも食べていただくことで、感謝の気持ちを伝えることができた。



実践アイデア② 児童が作詞したオリジナルのトマトソングでトマトへの愛着アップ!

トマトへの給手紙を書いたことで、子どもたちの観察力と表現力がぐっと高まった。さらにトマトへの愛着が深まるよう、トマトの歌を作ることを伝え、宿題で歌詞を考えさせた。みんなの歌詞をまとめ、2曲のオリジナルソング「トマトマト」「大すきトマト」(※)が完成した。  
※オリジナルソングはWebサイト「りりこわくわくネットワーク」で視聴いただくことができます

実践アイデア④ トマトを主人公にした物語作り!

オリジナルソングを作ったこともあり、物語の中にその歌を入れたり、トマトの冒険風の物語を作ったりと、みんなで楽しく取り組めた。冒険風の物語を書いた児童の作品(※)は大変好評で、「もっと読みたい!」というみんなの声から、原稿用紙15枚もの力作になった。  
※「トマトくんのぼうけん」はWebサイトから読むことができます

<実践の成果-先生の声>

- トマト一つで、こんなにも幅広い活動に取り組めたことが大変よかった。
- 自分たちが栽培しているトマトを使っているのが、児童がすべての活動に愛着を持って、楽しんで取り組んだ。オリジナルソング制作や栽培過程では、他学年の先生や保護者の方が手伝ってくれたため、児童は感謝の気持ちを持ち、自分たちだけではできないことも、他の人と協力することでできることを学んだ。ピザ作りの後、児童から「おうちの人にも食べさせたい」と家庭へのつながりが生まれ、保護者にも好評であった。そして皆がトマト好きになったことが何よりの成果である。